

## 空港利用に不安を感じる方をサポートするために 『羽田空港体験サポートブック』をホームページに公開します



※印刷をして、ご活用ください

東京国際空港ターミナル(株)では、発達障害のある方や初めて空港を利用する方など、空港利用に不安を感じる方々をサポートするため、「羽田空港体験サポートブック 第3ターミナル用」を制作し、羽田空港のホームページにて公開いたします。

[https://tokyo-haneda.com/site\\_resource/service/pdf/barrier-free\\_initiatives\\_hnd\\_airport\\_story\\_for\\_terminal3.pdf](https://tokyo-haneda.com/site_resource/service/pdf/barrier-free_initiatives_hnd_airport_story_for_terminal3.pdf)

本サポートブックは、主に国際線利用時にご活用頂けるツールで、空港到着から海外へご出発までの流れ、またはその逆の行程を写真ややさしい表現で紹介し、空港でどのような手続きや行動が必要になるのかを事前に理解できる内容となっています。これにより、利用者が空港での手続きの流れをあらかじめイメージでき、不安の軽減や安心感の向上につながることを目的としています。

近年、空港利用における手続きの多様化が進む中、発達障害のある方や感覚特性をお持ちの方、外国人旅行者、高齢者などにとって、空港利用の流れや手続きの見通しが立ちにくいという課題が指摘されています。欧米の主要空港では、こうした方々への配慮としてサポートツールの整備が進められており、国際的な空港評価機関からもその制作が推奨されています。

東京国際空港ターミナル株式会社では、こうした点を踏まえて、すべてのお客さまに安心して空港をご利用いただける環境づくりを目指し、ユニバーサルデザインの推進に継続的に取り組んでおり、本取り組みは、その一環として実施するものです。

今後は、第2ターミナル国際線用の制作や、本サポートブックを活用し、発達障害のあるお子さまを持つご家庭などを対象とした「空港利用の予行演習（体験会）」の実施を計画し、実際の空港環境の中で手続きの流れをご体験いただき、利用者の声を反映しながら、より実用性の高いサポートツールへと発展させて参ります。

羽田空港では、今後もユニバーサルデザインの取り組みを通じ、すべての方にとって利用しやすい空港づくりを推進してまいります。

#### 監修者

- ・中央大学研究開発機構 機構教授 秋山哲男・機構准教授丹羽菜生
- ・大阪大学連合小児発達学研究科 特任助教 村田絵美
- ・(公財)交通エコロジー・モビリティ財団